

アスファルト混合物配合設計報告書

混合物：再生密粒度ギャップアスコン(13)(EC0フォームト[®])

2025年 2月

鳥取アスコン 株式会社

アスファルト混合物配合設計総括表

試験年月日 2025年 2月14日

混合物の種類 再生密粒度ギャップアスコン(13)(EC0フォーマット)

試験者 大西 康夫

1. 使用材料の種類及び産地

材料の種類	製造会社名	産 地	材 質
碎石6号	坂田碎石工業株式会社	岡山県久米郡久米南町	硬質粘板岩
再生骨材	鳥取アスコン株式会社	鳥取県鳥取市古海	再生骨材
粗砂	住若海運株式会社	佐賀県唐津市	天然砂
細砂	有限会社仁徳砂利	鳥取市伏野	天然砂
石粉	足立石灰工業株式会社	岡山県新見市足立	石灰岩粉末
StAs(60-80)	ENEOS 株式会社	岡山県倉敷市水島	STAs60-80
RJ-T	竹中産業株式会社	東京都千代田区鍛冶町	大西 康夫

2. 使用骨材の配合割合

材 料	碎石6号	再生骨材	粗砂	細砂	石粉							計
配合割合%	33.5	50.0	3.0	11.5	2.0							100.0

3. 合成粒度

ふるい目	53mm	37.5	31.5	26.5	19	13.2	9.5	4.75	2.36	1.18	600μm	300	150	75
通過質量百分率%					100.0	99.6		51.6	38.4		29.6	20.8	8.6	6.5
粒度範囲	上限				100	100		55	45		40	30	15	10
	下限				100	95		35	30		20	15	5	4

4. 設計アスファルト量の決定

試験項目	最適AS量 (%)	密度 (g/cm³)	理論密度 (g/cm³)	空隙率 (%)	飽和度 (%)	安定度 (kN)	フロー ($\frac{1}{100}$ cm)	残留安定度 (%)
試験値	5.2	2.379	2.478	4.0	74.8	9.46	32	89.9
基準値	上限	6.5	—	7	85	—	40	—
	下限	4.5	—	3	65	4.90以上	20	75.0以上

※ マーシャル試験の結果はグラフより求めた値である

骨材試験成績表

目 的 配 合 設 計

試験年月日 2025年 2月14日

混合物の種類 再生密粒度ギャップアスコン(13)(ECOフォームト)

試験者 大西 康夫

ふるい分け試験

	ふるい目の開き	砕石6号	再生骨材	粗砂	細砂	石粉				
通過質量百分率%	53 mm									
	37.5									
	31.5									
	26.5									
	19	100.0								
	13.2	98.9	100.0	100.0						
	9.5									
	4.75	5.2	66.8	99.4						
	2.36		44.5	88.1	100.0					
	1.18									
	600 μm		30.2	35.2	99.0					
	300		20.3	12.3	71.6	100.0				
	150		12.0	2.8	4.1	98.1				
	75		9.1	1.0	1.1	88.4				

性状試験

試験項目		砕石6号	再生骨材	粗砂	細砂	石粉				
密度	表 乾	2.682	—	2.592	2.589	—				
	か さ	2.662	—	2.556	2.545	—				
	見 掛	2.717	—	2.651	2.661	2.710				
吸水率 / 水分量 %		0.76	—	1.41	1.72	0.02				
すりへり減量 %		11.1	—	—	—	—				
安定性 %		0.9	—	5.3	1.3	—				
微粒分量試験 %		—	1.7	—	—	—				
軟石含有量 %		0.6	—	—	—	—				
扁平細長石片 %		1.0	—	—	—	—				
単位容積質量		1.554	—	1.654	1.547	—				
粘土塊量 %		0.03	—	—	—	—				
最大密度		—	2.491	—	—	—				
旧 A s 含有量 %		—	4.50	—	—	—				
旧 A s 針入度		—	22	—	—	—				
圧裂係数		—	1.34	—	—	—				

骨材粒度設計（修正後）

目的配合設計（室內）

試験年月日 2025年 2月14日

混合物の種類 再生密粒度ギャップアスコン(13)(EC07フォームト[®])

試 験 者 大西 康夫

3. 使用予定骨材の合成粒度 修正後

骨 材		碎石6 号	再生骨材	粗砂	細砂	石粉		
配 合 率 A %		33.5	50.0	3.0	11.5	2.0		
通過質量百分率 B %	53 mm							
	37.5							
	31.5							
	26.5							
	19	100.0						
	13.2	98.9	100.0	100.0				
	9.5							
	4.75	5.2	66.8	99.4				
	2.36		44.5	88.1	100.0			
	1.18							
	600 μm		30.2	35.2	99.0			
	300		20.3	12.3	71.6	100.0		
	150		12.0	2.8	4.1	98.1		
75		9.1	1.0	1.1	88.4			

各骨材のふるい目の大きさ別配合率 (A) × (B)									合 成	目 標
5 3 m m										
3 7 . 5										
3 1 . 5										
2 6 . 5										
1 9	33.5								100.0	100.0
1 3 . 2	33.1	50.0	3.0						99.6	97.5
9 . 5										
4 . 7 5	1.7	33.4	3.0						51.6	45.0
2 . 3 6		22.3	2.6	11.5					38.4	37.5
1 . 1 8										
6 0 0 μ m		15.1	1.1	11.4					29.6	30.0
3 0 0		10.2	0.4	8.2	2.0				20.8	22.5
1 5 0		6.0	0.1	0.5	2.0				8.6	10.0
7 5		4.6	0.0	0.1	1.8				6.5	7.0

4. 骨材の密度による配合率の補正

[illegible]

骨材の粒径加積曲線図

目的 配合設計（室内）

試験年月日 2025年 2月14日

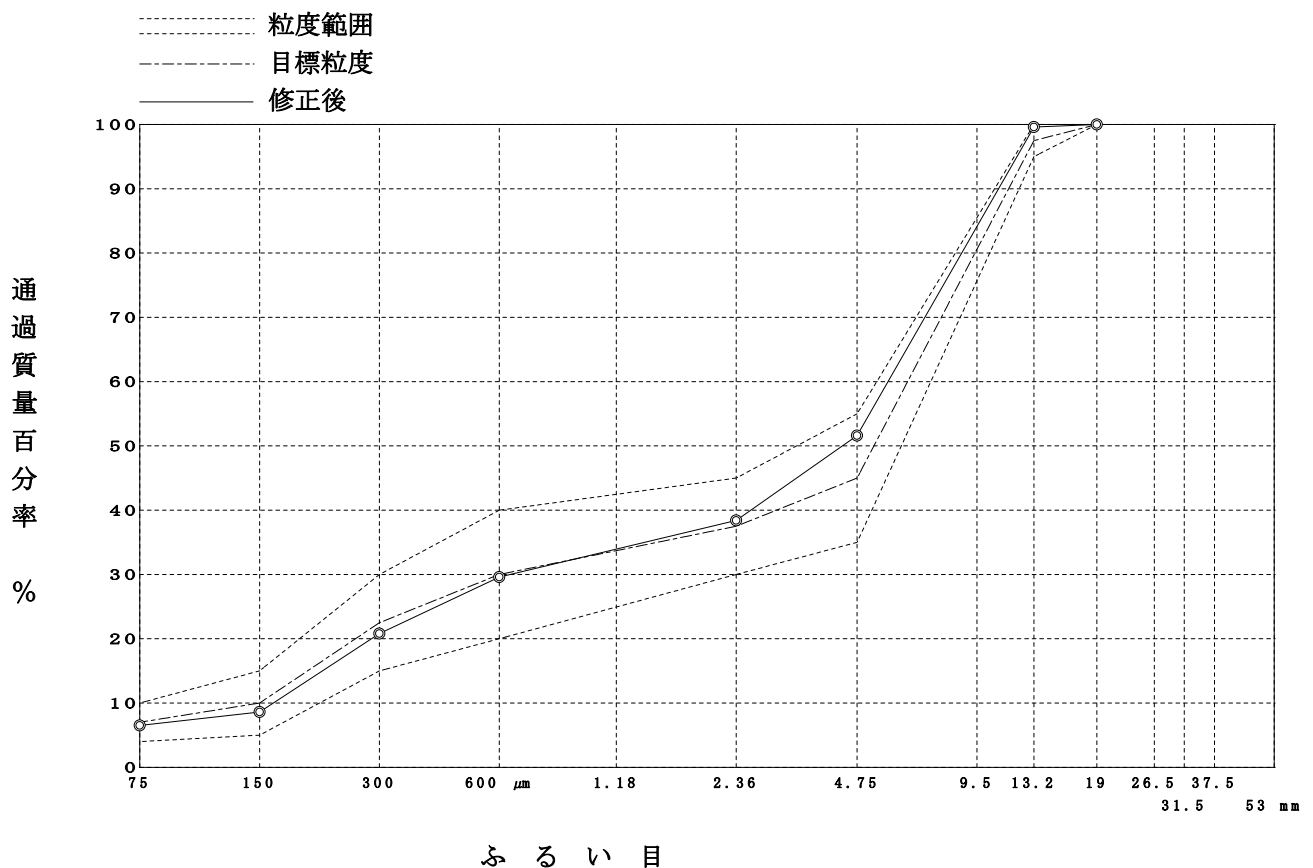
混合物の種類 再生密粒度ギャップアスコン(13) (EC0フォームト)

試験者 大西 康夫

5. 合成粒度

ふるい目	合成粒度		目標粒度	粒度範囲
	作図法	修正後		
53 mm				
37.5				
31.5				
26.5				
19	100.0	100.0	100.0	100
13.2	99.5	99.6	97.5	95 ~ 100
9.5				
4.75	51.1	51.6	45.0	35 ~ 55
2.36	42.3	38.4	37.5	30 ~ 45
1.18				
600 μm	32.5	29.6	30.0	20 ~ 40
300	23.6	20.8	22.5	15 ~ 30
150	10.6	8.6	10.0	5 ~ 15
75	8.6	6.5	7.0	4 ~ 10

6. 粒径加積曲線図



設計圧裂係数への調整（添加剤量）

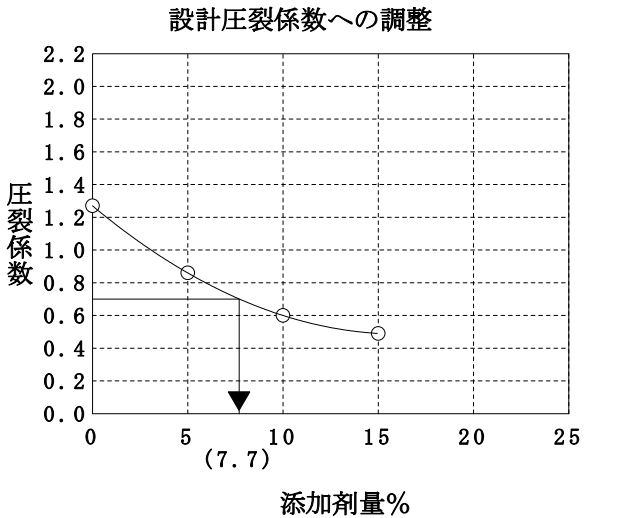
目 的 配 合 設 計	試験年月日 2025年 2月14日
混合物の種類 再生密粒度ギャップアスコン(13) (EC0フォーマット)	試 験 者 大西 康夫

試験項目	材料名	再生骨材				規格値
通過質量百分率 %	53 mm					
	37.5					
	31.5					
	26.5					
	19					
	13.2	100.0				
	9.5					
	4.75	66.8				
	2.36	44.5				
	1.18					
	600 μm	30.2				
	300	20.3				
	150	12.0				
	75	9.1				
旧アスファルト含有率 %		4.50				3.8 以上
圧裂係数 MPa/mm		1.34				1.70 以下
微粒分量試験による損失量 %		1.7				5 以下
最大密度		2.491				

再生添加剤の性状			
項	目	試 験 値	標準的性状
動 粘 度	(60℃) mm ² /s	88.01	80～1000
引 火 点	℃	306	250以上
薄膜加熱後の粘度比	(60℃)	1.09	2以下
薄膜加熱質量変化率 %		-0.25	±3%以内
密 度	(15℃) g/cm ³	0.941	

<添加剤量と圧裂係数の関係>				
添加剤量	0.0	5.0	10.0	15.0
圧裂係数	1.27	0.86	0.60	0.49

設計圧裂係数	0.70	(規格値 0.60 ～ 0.80)
--------	------	--------------------



<設計圧裂係数への調整結果>	
設計添加剤量	7.7
設計添加剤量 (対混合物)	0.18

理論最大密度計算表

目的 配合設計

試験年月日 2025年 2月14日

混合物の種類 再生密粒度ギャップアスコン(13)(EC0フォーマット)

試験者 大西 康夫

①	②	③			④	⑤
骨材の種類	配合率(%)	骨材の密度(g/cm ³)			計算に用いる密度	②/④
		表乾	かさ	見掛		
碎石6号	33.50	2.682	2.662	2.717	2.717	12.330
再生骨材	52.36				2.491	21.020
粗砂	3.00	2.592	2.556	2.651	2.651	1.132
細砂	11.50	2.589	2.545	2.661	2.661	4.322
石粉	2.00			2.710	2.710	0.738
RJ-T	0.18				0.941	0.191
Σ②=	102.54				Σ⑤=	39.733

⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪
アスファルト量(%)	アスファルトの密度	⑥/⑦	Σ⑤	⑧+⑨	理論最大密度(Σ②+⑥)/⑩
2.17	1.037	2.093	39.733	41.826	2.503
2.72		2.623	39.733	42.356	2.485
3.28		3.163	39.733	42.896	2.467
3.84		3.703	39.733	43.436	2.449
4.41		4.253	39.733	43.986	2.431
2.95		2.845	39.733	42.578	2.478

マ ー シ ャ ル 安 定 度 試 験

目 的 配 合 設 計 (室内)

試験年月日 2025年 2月14日

混合物の種類 再生密粒度ギャップアスコン(13)(EC0フォームト)

試 験 者 大西 康夫

アスファルトの種類 再生アスファルト(60-80) アスファルトの密度(A) 1.037 アスファルトの温度 160 ℃ 骨 材 の 温 度 195 ℃

突 固 め 温 度 140 ℃ 突 固 め 回 数 50 回 力計の係数(B) 0.1187

供試体条件	供試体番号	① アスファルト量%	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	
			供試体寸法					空中質量 (g)	水中質量 (g)	表乾質量 (g)	容積 (cm³)	密 度		アスファルト積 (%) ①×⑩ (A)	空隙率 (%) ①-⑩/⑪ ×100	骨材間隙率 (%) ⑬+⑭ ⑮/⑯×100	飽和度 (%)	安定度		フロー値 1/100 cm	安定フロー (kN/m)
			厚さ (cm)									かさ (g/cm³)	理論 (g/cm³)					力計の読み	安定度 (kN)		
			1	2	3	4	平均														
標準	1	4.5					6.26	1222.5	706.3	1223.0	516.7	2.366						72	8.55	32	
	2						6.34	1222.7	705.6	1223.3	517.7	2.362						66	7.83	26	
	3						6.43	1220.5	704.1	1221.0	516.9	2.361						70	8.31	29	
	平均											2.363	2.503	10.3	5.6	15.9	64.8		8.23	29	2838
標準	4	5.0					6.40	1226.4	710.1	1226.7	516.6	2.374						78	9.26	32	
	5						6.37	1226.5	713.0	1226.8	513.8	2.387						80	9.50	29	
	6						6.36	1227.0	708.6	1227.2	518.6	2.366						78	9.26	31	
	平均											2.376	2.485	11.5	4.4	15.9	72.3		9.34	31	3013
標準	7	5.5					6.43	1235.7	714.5	1235.9	521.4	2.370						75	8.90	35	
	8						6.41	1234.5	718.7	1234.7	516.0	2.392						84	9.97	32	
	9						6.42	1233.0	714.9	1233.2	518.3	2.379						78	9.26	35	
	平均											2.380	2.467	12.6	3.5	16.1	78.3		9.38	34	2759
標準	10	6.0					6.39	1241.6	718.0	1241.7	523.7	2.371						68	8.07	39	
	11						6.34	1241.2	721.1	1241.3	520.2	2.386						69	8.19	38	
	12						6.38	1237.5	716.8	1237.6	520.8	2.376						70	8.31	40	
	平均											2.378	2.449	13.8	2.9	16.7	82.6		8.19	39	2100
標準	13	6.5					6.30	1248.9	723.7	1248.9	525.2	2.378						50	5.94	47	
	14						6.42	1248.2	719.2	1248.3	529.1	2.359						49	5.82	45	
	15						6.30	1245.2	720.6	1245.3	524.7	2.373						53	6.29	43	
	平均											2.370	2.431	14.9	2.5	17.4	85.6		6.02	45	1338

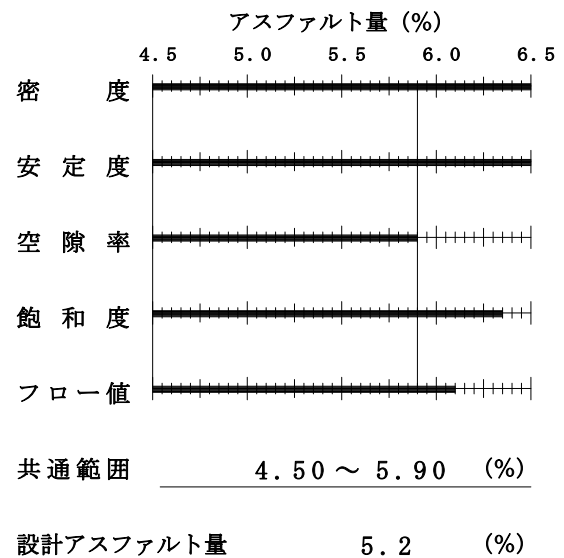
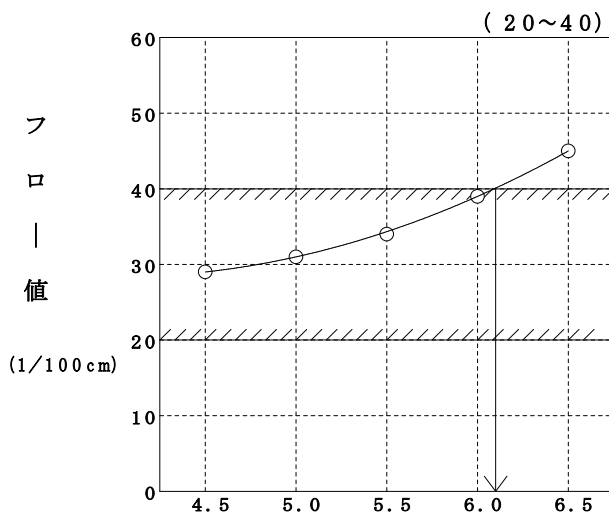
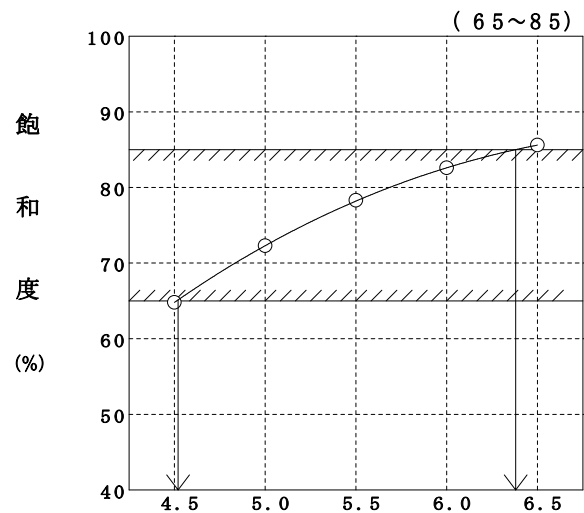
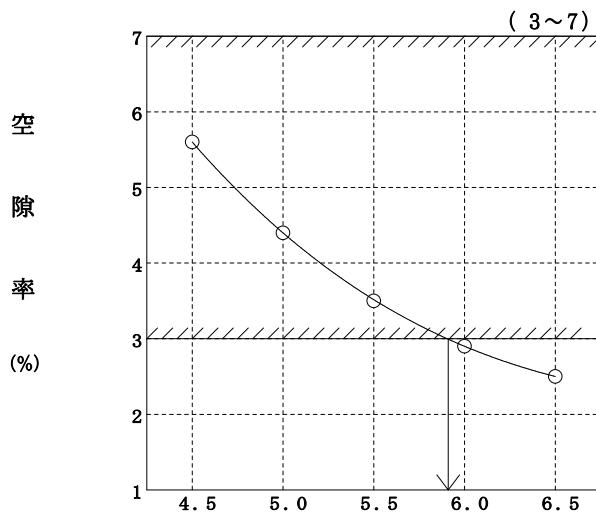
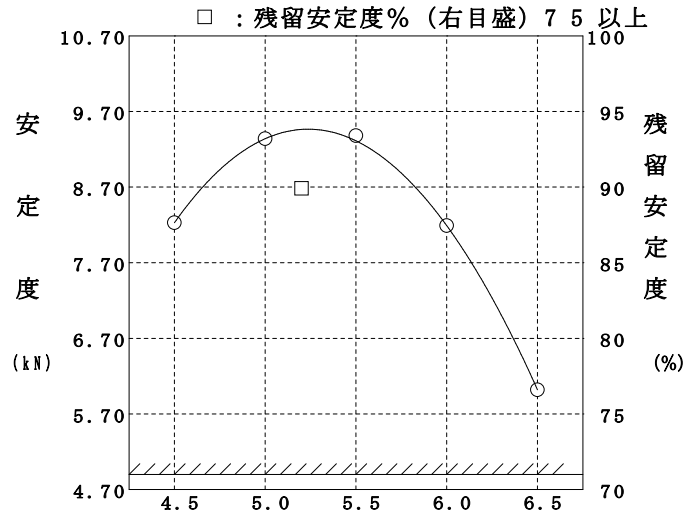
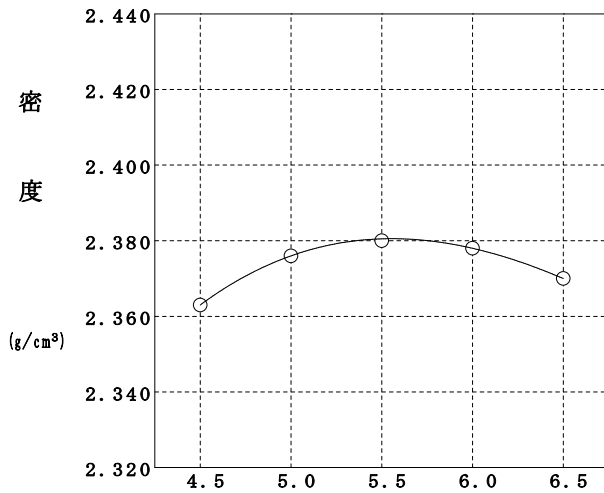
設計アスファルト量の決定

目的 配合設計 (室内)

試験年月日 2025年 2月14日

混合物の種類 再生密粒度ギャップアスコン(13)(EC0フォームト)

試験者 大西 康夫



殘留安定度試験

目的 配合設計（殘留）

試験年月日 2025年 2月14日

混合物の種類 再生密粒度ギャップアスコン(13)(EC07フォームト)

試 験 者 大西 康夫

アスファルトの種類 再生アスファルト(60-80) アスファルトの密度(A) 1.037 アスファルトの温度 160 ℃ 骨材の温度 195 ℃

突 固 め 温 度 140 ℃ 突 固 め 回 数 50 回 力 計 の 係 数 (B) 0.1187

[illegible]

ホットビン粒度設計（修正後）

目 的 配 合 設 計 (現 場)

試験年月日 2025年 2月14日

混合物の種類 再生密粒度ギャップアスコン(13)(EC07フォームト[®])

試 験 者 大西 康夫

3. 使用予定骨材の合成粒度 修正後

骨材		1 ビン	2 ビン	3 ビン	再生骨材	回収ダスト	石粉		
配 合 率 A %		15.0	3.5	29.5	50.0	0.5	1.5		
通過質量百分率 B %	53 mm								
	37.5								
	31.5								
	26.5								
	19			100.0					
	13.2		100.0	99.1	100.0				
	9.5								
	4.75	100.0	54.1	0.2	66.8				
	2.36	96.5	0.6		44.5				
	1.18								
	600 μm	83.4			30.2	100.0			
	300	54.6			20.3	99.2	100.0		
	150	2.8			12.0	87.2	98.1		
75	1.0			9.1	70.6	88.4			

各骨材のふるい目の大きさ別配合率 (A) × (B)									合 成	設 計
53 mm										
37.5										
31.5										
26.5										
19			29.5						100.0	100.0
13.2		3.5	29.2	50.0					99.7	99.6
9.5										
4.75	15.0	1.9	0.1	33.4					52.4	51.6
2.36	14.5	0.0		22.3					38.8	38.4
1.18										
600 μm	12.5			15.1	0.5				29.6	29.6
300	8.2			10.2	0.5	1.5			20.4	20.8
150	0.4			6.0	0.4	1.5			8.3	8.6
75	0.2			4.6	0.4	1.3			6.5	6.5

4. 骨材の密度による配合率の補正

[illegible]

ホットビンの粒径加積曲線図

目 的 配 合 設 計 (現 場)

試験年月日 2025年 2月14日

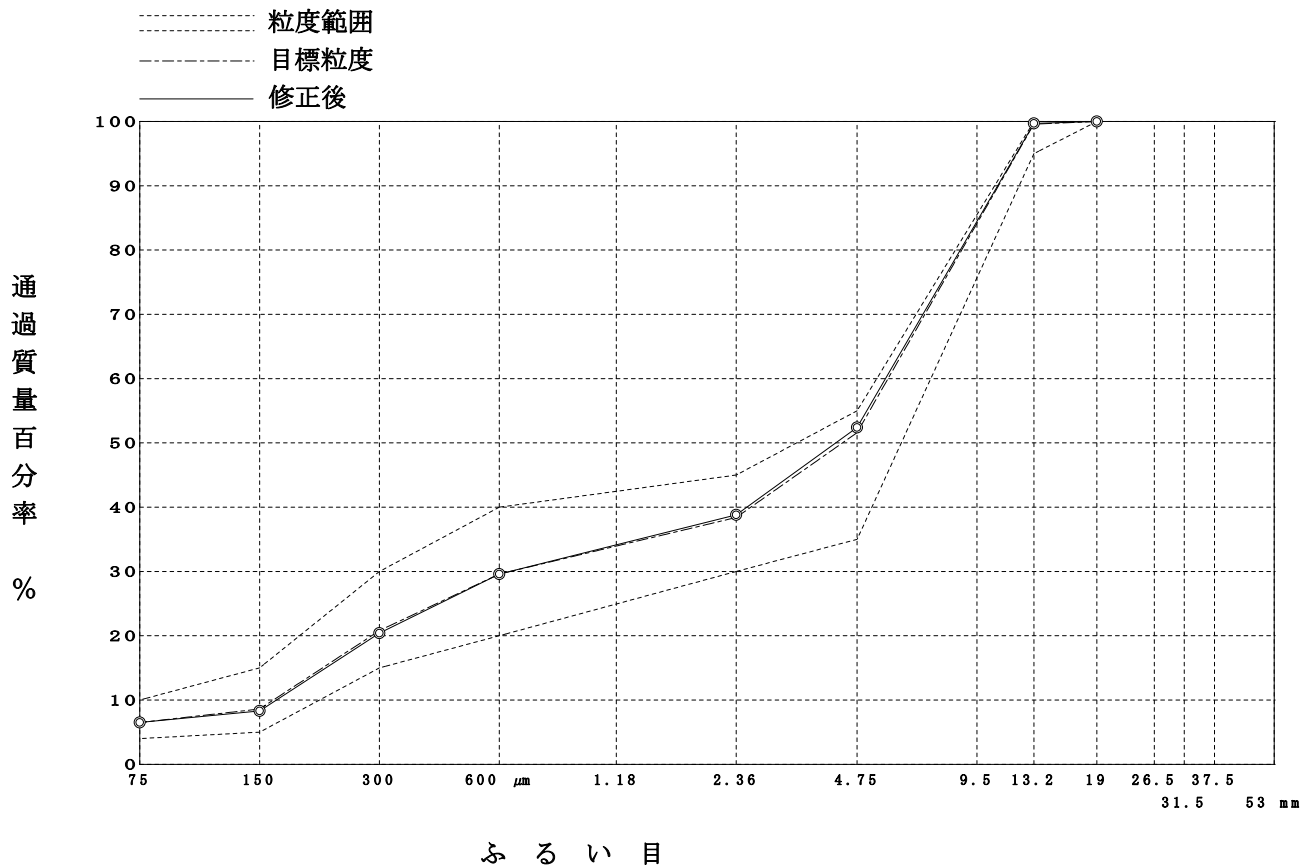
混合物の種類 再生密粒度ギャップアスコン(13)(EC0フォームト)

試 験 者 大西 康夫

5. 合成粒度

ふるい目	合 成 粒 度		目 標 粒 度	粒 度 範 囲
	作 図 法	修 正 後		
53 mm				
37.5				
31.5				
26.5				
19	100.0	100.0	100.0	100
13.2	99.8	99.7	99.6	95 ~ 100
9.5				
4.75	54.3	52.4	51.6	35 ~ 55
2.36	35.6	38.8	38.4	30 ~ 45
1.18				
600 μm	30.0	29.6	29.6	20 ~ 40
300	22.7	20.4	20.8	15 ~ 30
150	11.2	8.3	8.6	5 ~ 15
75	9.3	6.5	6.5	4 ~ 10

6. 粒径加積曲線図



理論最大密度計算表

目的 配合設計

試験年月日 2025年 2月14日

混合物の種類 再生密粒度ギャップアスコン(13)(EC07フォームト[®])

試 験 者 大西 康夫

骨 材 の 種 類	A 骨 材 の み				B（旧アスファルト含む）			
碎石6 号	3 3 . 5				3 3 . 5 0			
再生骨材	5 0 . 0				5 2 . 3 6			
粗砂	3 . 0				3 . 0 0			
細砂	1 1 . 5				1 1 . 5 0			
石粉	2 . 0				2 . 0 0			
計	1 0 0 . 0				1 0 2 . 3 6			
設 計 針 入 度 1 / 1 0 m m								
旧 ア ス フ ァ ル ト 量 （ 外割%）					2 . 3 6			
再 生 用 添 加 剤 量 （ 対 ア ス フ ァ ル ト 量 ） %					7 . 7 0			
再 生 用 添 加 剤 量 （ 対 再 生 混 合 物 ） （ 外割%）					0 . 1 8			
再 生 ア ス フ ァ ル ト 量 （ % ）	5 . 2							
再 生 ア ス フ ァ ル ト 量 （ 外割%）	5 . 49							
旧 ア ス フ ァ ル ト 量 （ 外割%）	2 . 36							
再 生 用 添 加 剤 量 （ 外割%）	0 . 18							
新 ア ス フ ァ ル ト 量 （ 外割%）	2 . 95							

マ ー シ ャ ル 安 定 度 試 験

目 的 配 合 設 計 (現 場)

試験年月日 2025年 2月14日

混合物の種類 再生密粒度ギャップアスコン(13)(EC07フォームト)

試 験 者 大西 康夫

アスファルトの種類 再生アスファルト(6 0 - 8 0)	アスファルトの密度 (A)	1 . 0 3 7	アスファルトの温度	1 6 0	℃	骨 材 の 温 度	1 9 5	℃
---------------------------------	---------------	-----------	-----------	-------	---	-----------	-------	---

突 固 め 温 度	140	℃	突 固 め 回 数	50	回	力計の係数 (B)	0.1187
-----------	-----	---	-----------	----	---	-----------	--------

供試体条件	供試体番号	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲		
		アスファルト量%	供試体寸法					空中質量 (g)	水中質量 (g)	表乾質量 (g)	容積 (cm ³)	密 度		アスファルト容積 (%)	空隙率 (%)	骨材間隙率 (%)	飽和度 (%)	安定度		フロー値 1/100 cm	安定フロー (kN/m)	
			厚さ (c m)									かさ (g/ cm ³)	理論 (g/ cm ³)					読み の	安定度 (kN)			
			1	2	3	4	平均															
																						⑨－⑧
標準	1	5.2					6.32	1229.9	714.7	1230.2	515.5	2.386							76	9.02	32	
	2						6.39	1229.8	712.7	1230.1	517.4	2.377							82	9.73	29	
	3						6.40	1230.2	713.8	1230.5	516.7	2.381							80	9.50	31	
	平均											2.381	2.478	11.9	3.9	15.8	75.3		9.42	31	3039	
	平均																					
	平均																					

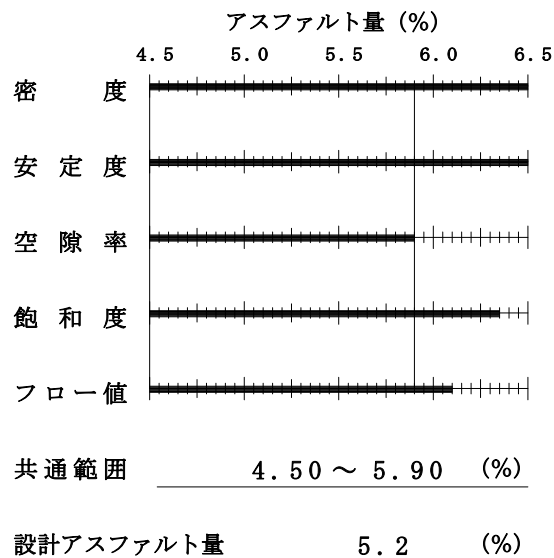
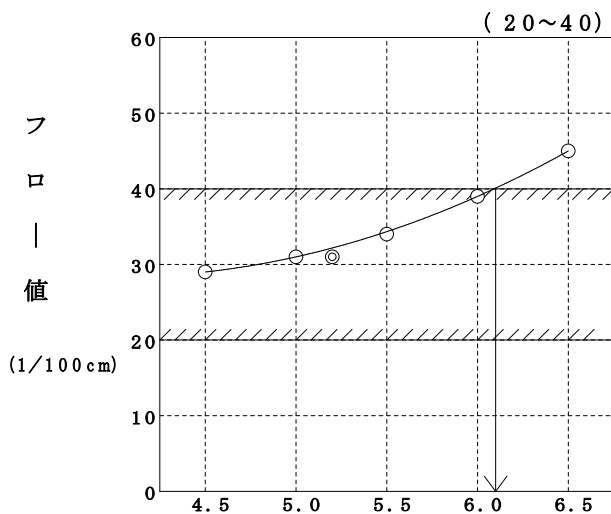
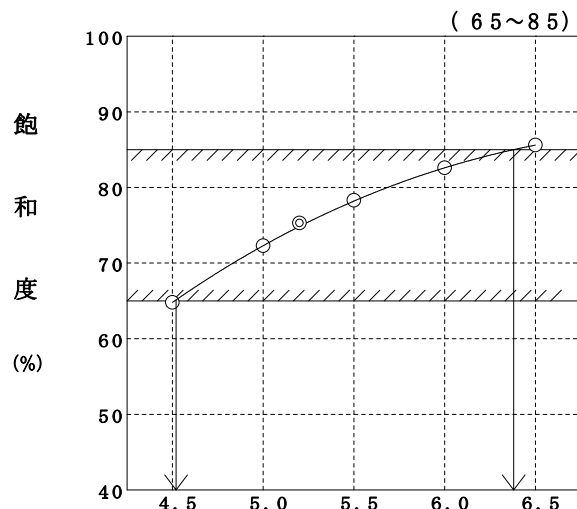
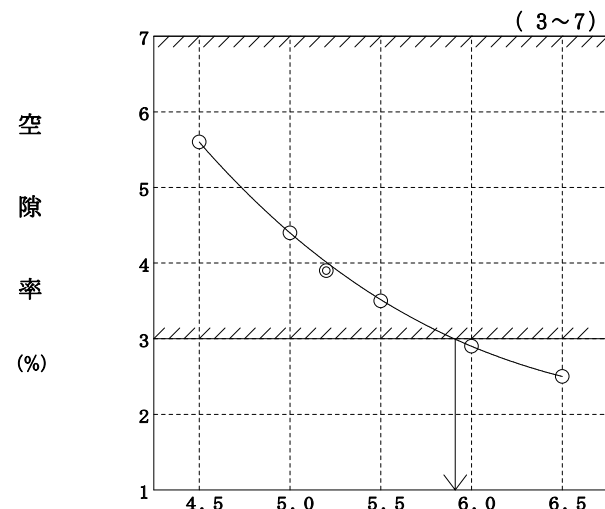
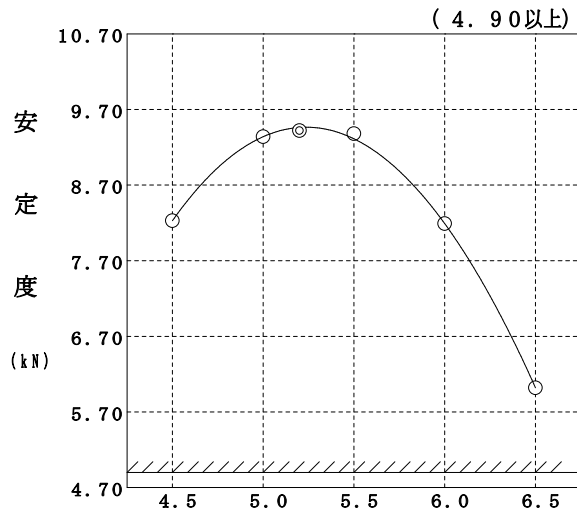
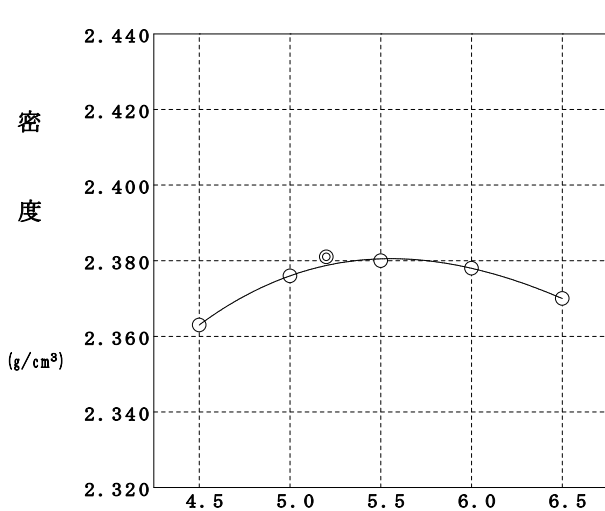
マ ー シ ャ ル 安 定 度 試 験

目 的 配 合 設 計 (現 場)

試験年月日 2025年 2月14日

混合物の種類 再生密粒度ギャップアスコン(13)(EC0フォームト)

試験者 大西 康夫



現場 マーシャル安定度試験（中温化）

目 的 配 合 設 計 （現場 中温化）

試験年月日 2025年 2月14日

混合物の種類 再生密粒度ギャップアスコン(13) (EC0フォームト)

試験者 大西 康夫

アスファルトの種類 再生アスファルト(60-80) アスファルトの密度 (A) 1.037 アスファルトの温度 160℃

骨材の温度 195℃ 突固め温度 -℃ 突固め回数 50回 力計の係数 (B) 0.1187kN

試験条件	供試体番号	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯
		突固め温度(℃)	供試体平均厚(cm)	空中質量(g)	水中質量(g)	表乾質量(g)	容積(cc)	密度(理論)	かさ論	ア容スファルト積(%)	空隙率(%)	骨材間隙率(%)	飽和度(%)	力計の読み	安定度(kN)	フロ―値 $1/100$ cm	安定度/フロ―(kN/m)
							⑤-④	③/⑥		①×⑦(A)		⑨+⑩	⑪/⑫×100		(B)×⑬		
標準	1		6.30	1231.6	717.0	1231.9	514.9	2.392						83	9.85	33	
	2	140	6.29	1228.3	715.5	1228.6	513.1	2.394						81	9.61	29	
	3		6.28	1230.7	715.6	1231.0	515.4	2.388						80	9.50	31	
	As量	5.2															
	平均							2.391	2.478	12.0	3.5	15.5	77.4		9.65	31	3113
標準	4		6.44	1229.3	716.5	1229.6	513.1	2.396						76	9.02	30	
	5	130	6.44	1231.1	715.0	1231.4	516.4	2.384						81	9.61	32	
	6		6.30	1230.4	713.3	1230.7	517.4	2.378						78	9.26	31	
	As量	5.2															
	平均							2.386	2.478	12.0	3.7	15.7	76.4		9.30	31	3000
標準	7		6.42	1228.7	714.7	1229.0	514.3	2.389						75	8.90	31	
	8	120	6.37	1228.9	713.9	1229.2	515.3	2.385						80	9.50	32	
	9		6.39	1230.1	711.4	1230.4	519.0	2.370						76	9.02	29	
	As量	5.2															
	平均							2.381	2.478	11.9	3.9	15.8	75.3		9.14	31	2948
標準	10		6.42	1231.2	710.0	1231.5	521.5	2.361						72	8.55	31	
	11	110	6.28	1230.4	712.0	1230.7	518.7	2.372						73	8.67	28	
	12		6.44	1230.9	712.7	1231.2	518.5	2.374						72	8.55	31	
	As量	5.2															
	平均							2.369	2.478	11.9	4.4	16.3	73.0		8.59	30	2863
	平均																

$$\textcircled{10} = (1 - \textcircled{7} / \textcircled{8}) \times 100$$

現場 混合物の突固め温度下限値の確認

目 的 配 合 設 計 (現場 中温化)

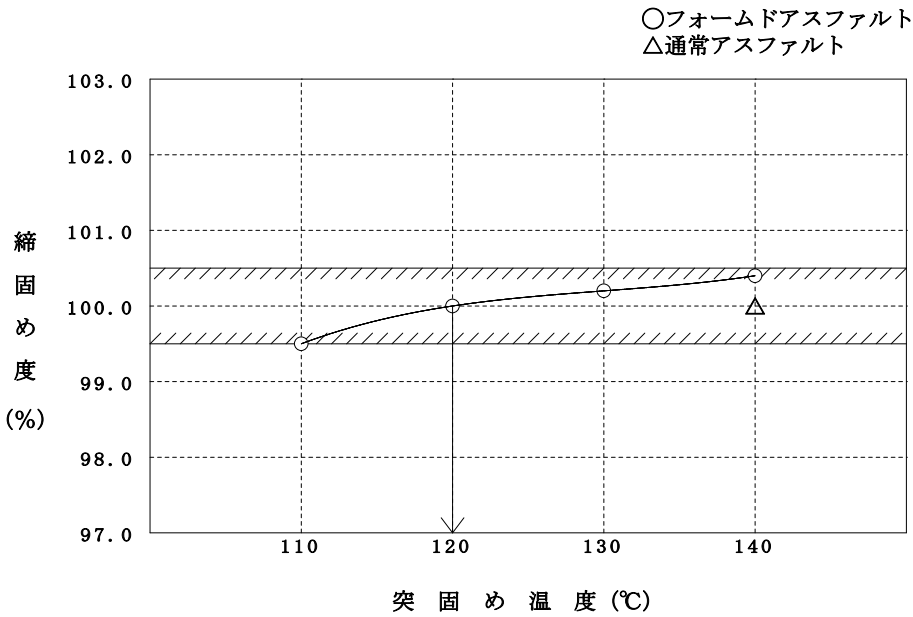
試験年月日 2025年 2月14日

混合物の種類 再生密粒度ギャップアスコン(13)(EC0フォームト)

試 験 者 大西 康夫

フォームドアスファルト使用時の混合物にて、突固め温度を変化させた供試体密度を測定し、
締固め度から突固め温度下限値を決定するとともに、混合物性状確認を行う。
締固め度は、フォームドアスファルト未使用の通常アスファルト時に決定した突固め温度で
作製した供試体の密度を基準密度とする。

項目				理論密度 (g/cm³)	密度 (g/cm³)	空隙率 (%)	飽和度 (%)	安定度 (kN)	フロー値 (1/100cm)	締固め度 (%)
中温化	突固め温度	As量	規格	—	—	3～7	65～85	4.90以上	20～40	—
未使用	140℃	5.2%		2.478	2.381	3.9	75.3	9.42	31	100.0
使用	140℃			2.478	2.391	3.5	77.4	9.65	31	100.4
使用	130℃			2.478	2.386	3.7	76.4	9.30	31	100.2
使用	120℃			2.478	2.381	3.9	75.3	9.14	31	100.0
使用	110℃			2.478	2.369	4.4	73.0	8.59	30	99.5



グラフより、
締固め度100.0%が得られる突固め温度は120℃となった。
締固め度99.5%～100.5%が得られる突固め温度は110℃～140℃となった。

現場 突固め下限温度でのマーシャル安定度試験

目 的 配 合 設 計 (現場 突固め下限温度)

試験年月日 2025年 2月14日

混合物の種類 再生密粒度ギャップアスコン(13)(EC0フォームト)

試 験 者 大西 康夫

アスファルトの種類 再生アスファルト(60-80)

アスファルトの密度 (A) 1.037

アスファルトの温度 160℃

骨材の温度 170℃

突固め温度 120℃

突固め回数 50 回

力計の係数 (B) 0.1187kN

試験 条件	供 試 体 番 号	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯
		ア ス フ ア ル ト 量 (%)	供 試 体 平 均 厚 (cm)	空 中 質 量 (g)	水 中 質 量 (g)	表 乾 質 量 (g)	容 積 (cc)	密 度 か さ (g/cm³)	理 論 (g/cm³)	ア 容 ス フ ア ル ト 積 率 (%)	空 隙 率 (%)	骨 材 間 隙 率 (%)	飽 和 度 (%)	安 定 度 力 計 の 読 み 取 り (kN)	安 定 度 係 数 (kN)	フ ロ ー 値 1/100 cm	安 定 度 フ ロ ー 値 (kN/m)
							⑤-④	③/⑥		①×⑦ (A)		⑨+⑩	⑪/⑫×100		(B)×⑭		
標準	1	5.2	6.45	1228.7	711.9	1229.0	517.1	2.376						78	9.26	31	
	2		6.30	1230.5	714.2	1230.8	516.6	2.382						83	9.85	32	
	3		6.45	1231.6	715.5	1231.9	516.4	2.385						77	9.14	31	
	平均							2.381	2.478	11.9	3.9	15.8	75.3		9.42	31	3039
	平均																
	平均																
	平均																

⑩ = (1 - ⑦/⑧) × 100

現場配合の決定

目 的 配 合 設 計	試験年月日 2025年 2月14日
混合物の種類 再生密粒度ギャップアスコン(13)(EC0フォームト*)	試 験 者 大西 康夫

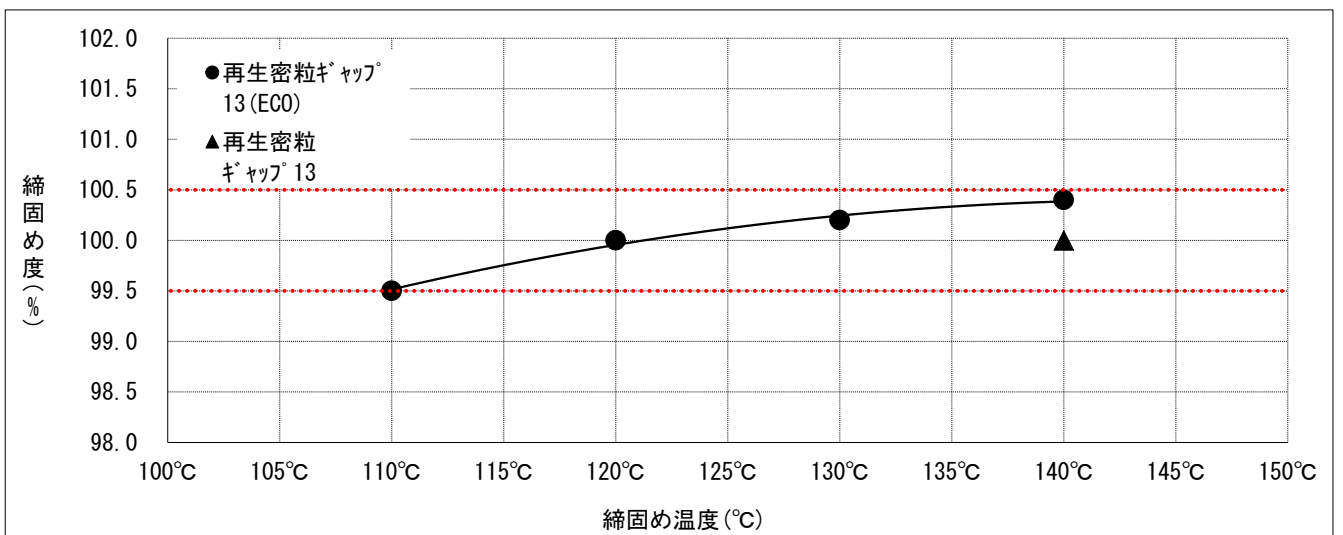
1バッチ 1000 kg						
	骨 材 配 合 比(%)	外 割 配 合 比(%)	内 割 配 合 比(%)	1バッチ質量 (kg)	骨材累加質量 (kg)	
1 ビ ン	15.0	15.00	14.22	142	142	
2 ビ ン	3.5	3.50	3.32	33	175	
3 ビ ン	29.5	29.50	27.97	280	455	
回 収 ダ ス ト	0.5	0.50	0.47	5	5	
石 粉	1.5	1.50	1.42	14	14	
再 生 骨 材	50.0	52.36	49.64	498	498	
旧 ア ス フ ェ ル ト		(2.36)	(2.24)			
再 生 用 添 加 剤		0.18	0.17			
新 ア ス フ ェ ル ト		2.95	2.79	28	28	
合 計	100.0	105.49	100.00	1000	1000	

※添加剤はドライヤ内添加のため
再生材の計量値に含まれます。

フォームド混合物の温度管理目標値一覧

混合物の締固め特性

項目	規格値	混合物の種類					
		再生密粒 ギ ャ ッ プ 13	再生密粒ギ ャ ッ プ 13 (ECO)				
締固め温度	℃	－	140℃	140℃	130℃	120℃	110℃
密度	g/cm ³	－	2.381	2.391	2.386	2.381	2.369
締固め度	%	－	100.0	100.4	100.2	100.0	99.5
空隙	%	3～7	3.9	3.5	3.7	3.9	4.4
安定度	kN	4.90以上	9.42	9.65	9.30	9.14	8.59
フロー	1/100cm	20～40	31	31	31	31	30



温度管理目標値

	低 減 温 度	℃	0	10	20	30
夏季	出 荷 温 度	℃	160±10	150±10	140±10	130±10
	敷 均 温 度	℃	140以上	130以上	120以上	110以上
	初 期 転 圧 温 度	℃	140±10	130±10	120±10	110±10
冬季	出 荷 温 度	℃	160±10	150±10	140±10	130±10
	敷 均 温 度	℃	140以上	130以上	120以上	110以上
	初 期 転 圧 温 度	℃	140±10	130±10	120±10	110±10

※上記の温度管理目標値につきましては、当ブランドの推奨する温度であり、規格値ではありませんのでご注意ください。
 ※現場条件（現場までの距離・施工方法・気象条件）等が異なるため、温度範囲につきましては、所定の締固め度が得られる範囲内で、各現場毎に検討して下さい。